平成26年12月14日執行　　神奈川県第１区選挙区（横浜市中区、磯子区、金沢区）

衆議院小選挙区選出議員選挙　選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

中区・磯子区・金沢区 まちかど政治瓦版

「ヨコハマ創生」。元気で豊かなわが街を取り戻します

自民党公認

松本純

景気回復、この道しかない。

ちょうど二年前まで、日本の中小企業は円高に苦しみ、地域の商店街は出口の見えないデフレに失望していました。そして家族は加速する少子高齢化にたじろいでいたのです。

自民党の政権奪還、第二次安倍内閣の「アベノミクス」の登場によって日本経済は一気に好転し、明るさが見えてきました。それは株価の上昇、企業収益の回復やさまざまな経済指標の改善に表れています。しかし、この景気回復をどの地域でも、誰でもが実感できるようになるのはこれからです。

松本純は、そのためにはアベノミクスをさらに力強く前進させなければならないと皆さまに訴えます。そして消費税再引き上げの先送りで厳しさを増す財政の中でも社会保障を堅持していくことを「福祉の専門家」としてお約束します。

「3つの政策」の実現を皆さまにお約束します

www.jun.or.jp

「アベノミクス」の成果をあなたの街にも拡大します

- 地域の特性を活かした独自の新成長戦略を推進します
- 中堅・中小企業や小規模な事業者の革新を支援します
- 国家戦略特区指定で港都ヨコハマの再生をかなえます

元気で豊かな街を再び、「ヨコハマ創生」を実現します

- 国からの施策を待つだけでなく横浜からも提案します
- わが街の名物を応援して地域のブランド化を図ります
- 家族・地域・ふるさとを大切にする価値観を育てます

「福祉の専門家」として安心の社会保障を堅持します

- 若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現させます
- 女性が輝く社会をつくるために学童保育を拡充します
- 再生医療の実用化や在宅での医療・介護を推進します

まつもとじゅんプロフィール

- 昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ ▽本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師 ▽本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む ▽横浜市議（3期）
- 平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし年金・医療・介護などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人となる
- 平成17年～総務大臣政務官、議院運営委員会理事など歴任
- 平成19年～自民党横浜市連会長
- 平成20年～麻生内閣で官房副長官に任命される
- 平成24年～厚生労働委員会理事（野党筆頭）、自民党副幹事長
- 平成25年～自民党国会対策委員会筆頭副委員長、衆議院厚生労働委員会委員長
- 平成26年～自民党政務調査会長代理、副幹事長

消費税10%先送りでなくきっぱり中止を

安倍政権と対決 日本共産党へのご支持を

日本共産党

明石ゆきお

あかし 行夫

「アベノミクス」で、やがては庶民にも恩恵が及んでくると言われ続けて2年が経ちましたが、国民生活は恩恵どころか増税と物価高で悪くなる一方です。「アベノミクス」には内需中心の日本経済の方策がありません。

消費税の増税は、きっぱり中止する。そして国民の所得をふやす政策に転換して、賃上げと安定した雇用を実現することです。

私は、消費税10%増税の中止で暮らしと営業を守るために、全力をつくします。

消費税に頼らない 2つの改革

日本共産党は、消費税に頼らない、暮らしと経済を立て直す「二つの改革」を提案しています。

1. 富裕層や大企業への応分の負担を求める税制改革。
2. 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。

この「二つの改革」をすすめ、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

暮らし第一で 経済を立て直す3つの提案

1. 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
2. 社会保障切り捨てから充実へ
3. TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

アベノミクスで格差拡大、景気悪化

消費税8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

「海外で戦争する国づくり」やめ 憲法9条を生かした平和外交を

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくります。国民の目・耳・口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤廃させます。

再稼働ストップ「原発ゼロの日本へ」

福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

比例代表選挙は 日本共産党 とお書きください

金権政治ノー、政党助成金廃止

「カネ」で政治をゆがめる自民党か、国民の声で政治を動かす日本共産党か、自共対決は鮮明。共産党以外が受けとっている企業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、国民の声が生きる政治をつくります。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

党1区 国政対策委員長

略歴　都立大学理学部物理学科卒。中小企業のIT化等に従事。横浜南部民主商工会副会長。趣味はジャズバンド活動など。55歳。

明石ゆきお 検索 http://akashi-yukio.jp/

維新の党 公認

しのはら豪

ごう

志

国政改革の先頭に立って！

横浜市会議員の実績、国でチャレンジ！

外郭団体改革、今度は国で！

横浜市の外郭団体が832億円もの資産を貯め込んでいた実態を明らかに。足かけ2年、徹底追及で身内に甘い行政の体制にストップをかけ、返還や返済、補助金の削減を仲間とともに実現しました。次は国で実行してまいります！

全国初の特例給与削減条例を提出！

全国地方議会において、他に類を見ない国の震災対応に呼応させた議員提案条例を提出。残念ながら否決でしたが、率先して自ら身を切る改革を提案。国でもどんどん提案してまいります！

次世代に責任、実現のために！

熱念情信 悟覚

「若い力・新しい力」で、共に実現します！

ブェアー"で"活力"あふれるこの国のかたちを。

GO1 ムダ削減、徹底行革、もはや待ったナシ！

●身を切る改革。国会議員定数・歳費30%削減。公務員総人件費2割削減、民間並みに適正化。●公営企業・外郭団体は民営化・廃止等、ゼロベースで見直し、スリムな組織作り。●次世代にツケを回すバラマキ公共事業を省いて歳出削減。財政は生活重視の方向へ！

GO2 脱しがらみ!! 成長戦略・景気回復！

●既得権益・しがらみから脱して、規制改革。地方の活力重視で、実体経済を底上げしよう！ ●金融政策だけを頼みにせず構造改革・生産性の強化・新規参入等で競争力を向上。●シニア人材の活力を生かして循環型の国内経済成長の実現、国際競争力の強化。

GO3 地方創生は、中央ではなく、地方の力で！

●都道府県を廃止し、道州制を推進。権限・財源は地方に移譲。地域が決める仕組み作りへ。●消費税は地方税化。地方財政計画は廃止。国の出先機関も地方へ移管。●霞が関がルールを決めるひも付き補助金は廃止し、真の一括交付金化を実現しよう。

GO4 社会保障制度改革、先送りにNO！

●消費増税分の公共事業流用は行わない。社会保障（年金、医療、子育て）の財源に。●「同一労働同一賃金法」を制定し、正規・非正規の区別ない雇用労働制度へ。●地域における医療と介護の切れ目ないサービスの提供。在宅医療基盤整備。

GO5 原発から「自然エネルギー立国へ」

●電力自由化による市場メカニズムで、相対的に高コストな原発依存から脱却。●曖昧な責任所在、最終処分・廃棄物処理の解決なくして原発の再稼働なし。●地産地消型電源の立地促進。国土特性・日本の潜在的技術力で自然エネルギー立国へ。

GO6 次世代に責任、未来の子ども達のために！

●子ども達の将来にツケを回さない、真に次世代に責任とビジョンある日本の国づくり。●地域の権限で多様な子育て支援サービスを可能とする環境と制度の構築。●誰もが学ぶ機会を獲得できる社会の実現。経済格差による学力格差の解消へ。

愛する地元から国を変える

幼少時代から杉田で育ち、富岡在住の横浜市議として、関内の市会で4年近く働きました！

プロフィール

1975年 2月生まれ（39才）結婚11年目 一児の父
1981年 磯子区岩崎学園幼稚園 卒
1987年 横浜市立杉田小学校 卒
1993年 私立逗子開成中学・高校卒（ヨット部OB会）
●米カリフォルニア大学サンディエゴ校 Web Publishingサティフィケート
●早稲田大学 卒（文学士）
●早稲田大学 大学院政治学研究科 修士課程修了

【経歴等】
前横浜市議会議員（金沢区選出）
維新の党 神奈川県総支部政調副会長。
雑誌副編集長／クリエイティブ・ディレクターほか。

39才

ISHIN 維新の党

ホームページをご覧ください！▶▶▶ lets-go-yokohama.jp　go.shinohara

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版によって印刷したものです。　神奈川県選挙管理委員会（横浜市中区日本大通１）